

鳥取市のまちづくりに関する主な計画について

鳥取市のまちづくりに関する主な計画について 1/3

種別	担当課	計画名等	事業概要
鳥取駅周辺 再編 参照 5ページ	まちなか未来 創造課	鳥取駅周辺再生基本 計画 (R6)	<p>駅周辺再編の目的 今後も人口減少、少子高齢化の進行が見込まれる中、安心して快適に暮らし続けられるまちづくりを目指すにあたり、例えば賑わいの創出のため駅が目的地になるような空間整備として若者や子育て世代が楽しめ集える場所、バリアフリーの観点からも、誰もが安全安心に移動できる動線の形成など、安全安心で賑わいのある駅周辺の創出を目的としている。</p> <p>具体的には、駅北側では、現風紋広場辺りをバスターミナルとし、一体的に活用できる北口広場と複合施設の設置が検討されている。</p> <p>南側では、山白川や市立図書館への歩行者動線に配慮した、人に優しい空間整備が検討されている。</p> <p>スケジュールとしては、令和6年6月に基本的な方向性を示す「鳥取駅周辺再生基本計画」を策定し、令和8年度中には整備計画の策定をおこない、そこから5年程度の整備期間で、令和13年～14年あたりに整備完了を目指している。</p>
中心市街地 活性化事業 参照 6ページ	まちなか未来 創造課	鳥取市中心市街地活 性化基本計画(R5)	<p>中心市街地の課題として、市全体に比べ少子高齢化が進展している中心市街地においては、リノベーションによる遊休不動産の利活用、ワーケーションの新たな働き方による居住の利便性を示し、若年層のまちなか暮らしの一層の推進を図る必要がある。</p> <p>また、駅前賑わい空間の等の活用やまち歩きの環境整備などによる来街者の回遊・滞在機会の増による経済活力の向上、鳥取城跡など地域資源を活かした観光・交流人口の拡大などを基本方針としている。</p> <p>○リノベーションまちづくり推進事業(鳥取市・株式会社まるにわ・鳥取市中心市街地活性化協議会) 空き家・空き店舗などの遊休不動産の利活用を通じて、まちなかの課題を官民連携で解決をしながら、まちの魅力向上を図る。直近の成果としては、桜土手通りの花見橋付近の空き店舗がカフェ「Krowto Coffee(クロウトコーヒー)」となったことや、川端通りの元クリーニング店がクラフトビールのビアパブ「Gather(ギャザー)」になったことが挙げられる。このようないノベーションによる事業により、新たなまちの賑わいが生まれている。</p> <p>○鳥取市まちなかビジネス・コミュニティ拠点整備事業(鳥取市) 空きテナントとなっている加藤紙店の1階～3階を利活用し、サテライトオフィスやコワーキングスペース機能を持った拠点を整備する。これにより、地元社会人や学生、都市部人材など多様な人材によるまちづくりやビジネスの共創を促進し、まちなかでの新たな地域活動やビジネスの誘発を図る。(令和8年度中にオープン予定)</p>

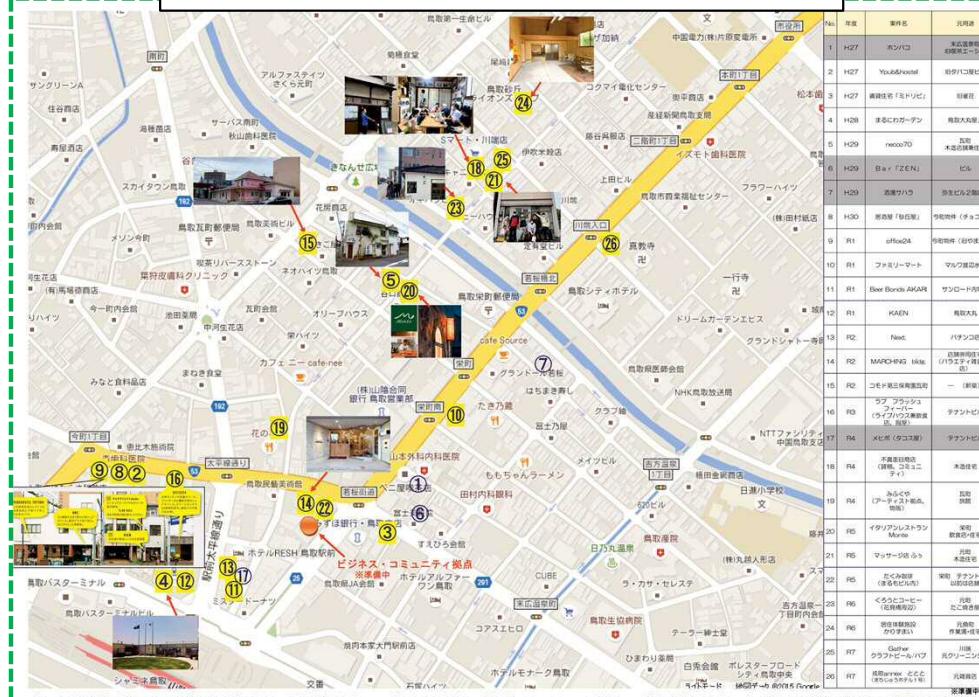
種別	担当課	計画名等	事業概要
旧市役所跡地 参照 7ページ	政策企画課	日本庁舎等跡地活用基本計画及び基本設計	<p>名称 鳥取市まちなか交流広場 令和3年度に方向性が示され、防災機能の整備、緑地の配置により「震災時の避難及び復旧活動の拠点となり得る、緑のあふれる広場」を中心としたオープンスペースであり、普段は、賑わいを生む場所として利用。</p> <p>令和4年度 基本計画、基本設計を実施 令和5年度 実施設計 令和6年度から着手から(令和8年3月オープン予定)</p> <p>愛称 TORIKOI PARK(防災機能を備えた緑地広場 2026.3完成予定)</p>
公共施設	資産活用推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市公共施設の経営基本方針(H27) ・鳥取市公共施設等総合管理計画(H27) ・公共施設再配置基本計画(H28) 	<p>少子高齢化に伴い、施設管理コストの市民一人当たりの負担増、施設更新時期の集中、施設の老朽化等多くの課題がある中で、将来にわたり住み続けられるまちとするため、平成27年に鳥取市公共施設の経営基本方針を定め、数値目標としては施設面積の29%を縮減するとした。</p> <p>また同年、鳥取市公共施設等総合管理計画、平成28年3月には公共施設の方向性等を施設ごとにまとめた『公共施設再配置基本計画』を策定。再配置基本計画は、具体的に更新の検討時期を定めたもの。</p> <p>配置基本計画の第1期(2016～2024)を5年が過ぎるところ、再配置推進に向け今後の新たな取組を検討するため、令和3年度に外部専門家を主な構成員として「鳥取市公共施設再配置推進委員会」を設置し議論し意見書をいただく。施設数は縮小しつつも機能を充実する「縮充」の考え方。</p> <p>さらに、より具体的に進めていくために、中学校区単位でワークショップを行い公共施設の具体的な検討を定めていくことが実際に始まっている。</p>
文化施設 参照 8ページ	文化交流課	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール等文化施設のあり方に関する基本方針(R5) ・新たな文化施設の整備に関する基本構想(R7予定) 	<p>施設更新等、あり方検討の目的 第1に老朽化、そのほか全般的には公共施設あり方検討と同じ理由。 主要な4つの文化施設(市民会館、文化センター、ホール、福祉文化会館)の、必要な機能、規模等に再編する。 例えば、必要な機能を持った施設を中心市街地に設置することを検討している。 スケジュールの予定としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度中に基本構想を策定 ・そこから概ね5年で、基本計画、基本設計、実施設計 ・その後概ね5年をかけて整備工事

鳥取市のまちづくりに関する主な計画について 3/3

種別	担当課	計画名等	事業概要
学校	教育総務課 校区審議室	鳥取市立学校適正規模・ 適正配置(R2)	<p>目的 「子供の数が減っても教育の水準がなるべく公平に維持されることを最優先として鳥取市 の適正規模・適正配置の目安を示す」</p> <p>スケジュール 計画内では、概ね20年後を見据えた学校配置を示している。</p> <p>具体的な動き (名称未定)気高地域小学校 4校を1校にまとめて新たに整備 令和13年4月開校予定</p>
公営住宅	建築住宅課	鳥取市営住宅長寿命化計 画(R3)	<p>計画の目的 公営住宅は、セーフティネットとして無くすることはできないので、数を必要個数に近づけて いく。(人口減少に合わせて、需要と供給の適正配置)</p> <p>現計画は中長期的な事業計画のマネジメントを行なながら、市営住宅のライフサイクルコスト の縮減を図り、市営住宅の役割を果たすための良質なストックを形成するため、既定長 寿命化計画を見直したもの。</p>

鳥取市のまちづくりに関する主な計画について 【中心市街地活性化事業】

リノベーション事業化実績マップ(H27年度～)

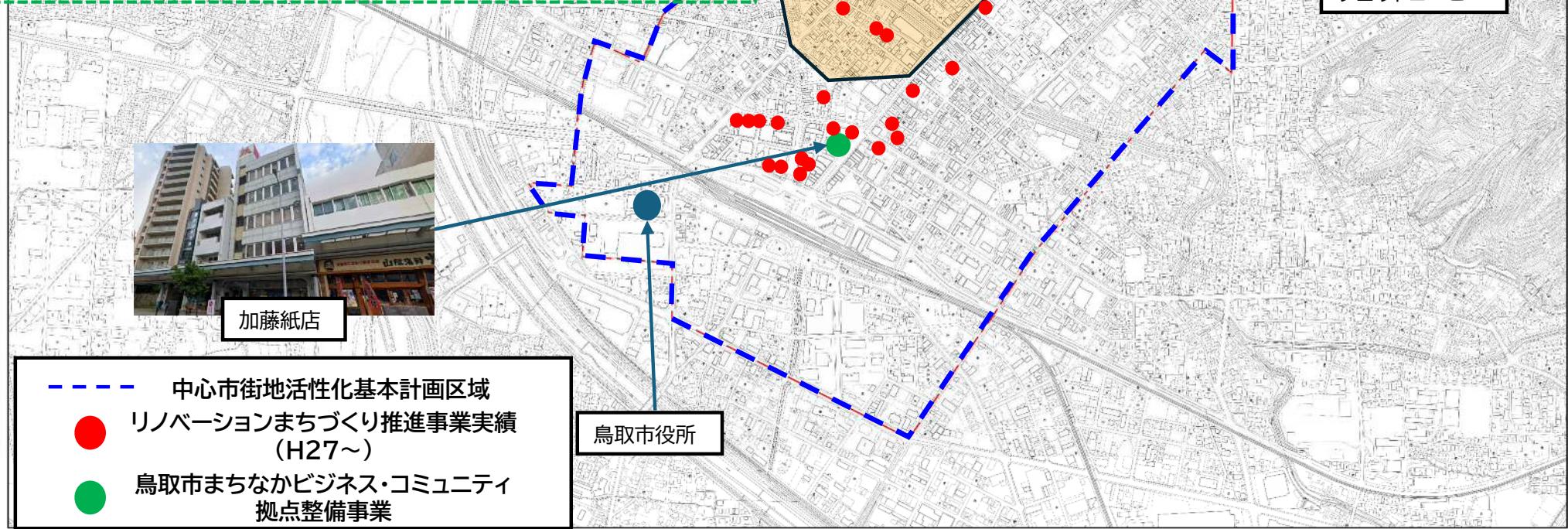


鳥取市役所
リノベーション事業化実績マップ
(H27～)
鳥取市まちなかビジネス・コミュニティ
拠点整備事業

鳥取市役所

500 m
1:10,000

6



鳥取市のまちづくりに関する主な計画について 【鳥取市まちなか交流広場】



鳥取市のまちづくりに関する主な計画について 【文化施設】

